

パナソニックとVodafoneが「NB-IoT」を活用した 常時接続IoT家電の検証を実施

パナソニック株式会社（以下、パナソニック）とVodafoneは、省電力広域無線通信技術「LPWA（Low Power Wide Area）」の1つである「NB-IoT（NarrowBand-Internet of Things）」を活用したIoT家電の実用化に向けて検証を実施します。2018年秋をめどに、ドイツ・フランクフルトでNB-IoT通信対応家電の実証実験を開始する予定です。

通信技術の進化に伴い、IoTによる新たな価値提供がますます重要になってきていますが、IoT機器の普及拡大には、より簡単で快適なインターネット接続が不可欠です。

NB-IoTは、低消費電力で広域をカバーし、長寿命という特長を有し、幅広い用途に適応する新たな無線技術として関心が高まっており、Vodafoneも既にネットワークサービスの提供を開始しています。NB-IoT通信機能を搭載した家電の場合、インターネット回線が無いご家庭でも電源を入れるだけでクラウドサービスが利用できるようになります。

両社は、まず、遠隔操作や機器管理などのネットワーク機能を視野に、エアコンをターゲットとして検証を進めます。検証を通じて、NB-IoT通信機能を搭載したIoT家電の技術とビジネスモデルが確立できれば、将来的には多様な機器での検証も検討していきます。

なお、パナソニックは、日本においても、大手通信会社とともにLPWAを活用した常時接続IoT家電の実証実験を今秋より開始する予定です。

パナソニックとVodafoneは、LPWAを活用して家電をつなぎ、IoT時代の新たな体験や価値創造を目指します。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。